

ふしょうっこ日記

令和7年12月2日

米の数



今年の5年生は、総合的な学習の時間に米を育てました。種粃から発芽させ苗を育て、ペットボトルに入れた大きなプランターに田植えをして観察をしてきました。米が実ったので、稲刈りを行い、乾燥させていました。

今日は、乾燥させた稲から脱穀しました。プラスチックの皿を2枚使って、皿と皿の間に稲を挟んで上手に脱穀をしている子、手でするすると脱穀をする子、どちらも上手に脱穀していました。多くの米が、袋に集まりました。今日は、その採れた米の数を数える学習でした。5年生の子供たちは、算数科で平均の学習をしています。一定の数を数えた後に、全ての数を予想しました。それから、答え合わせ。大学の先生との共同研究で取り組んでいるため、米の数を数える機械を持ってきていただきました。クルクル回る機械のまわりを囲んで見つめていました。



約1800個まで数えられましたが、給食の時間になってしまいました。続きは、大学生に依頼しました。さて、予想は当たるでしょうか。

この学習のゴールは、「米ができた!」ではなく、「自分たちが作った米を食べること」です。粃から育てた米を食べたとき、子供たちがどのような思いを持つか、楽しみです。